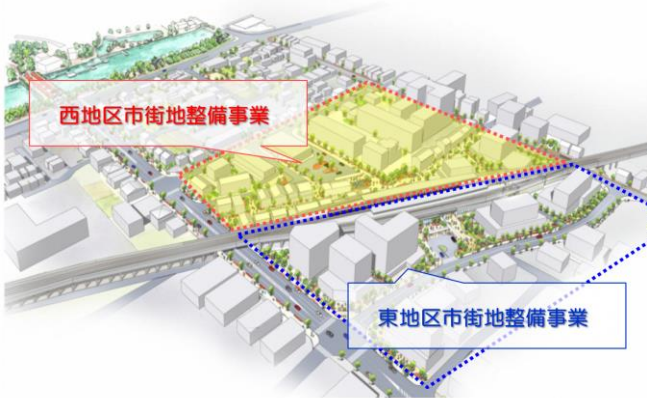


阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 『第2回事業検討会』

1. 第2回事業検討会 概要

阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の実現に向け、阪急線路の高架化による影響が少ない駅西地区について、先行的にまちづくりの検討を進めています。

第2回事業検討会では、駅前広場や補助幹線道路等の公共施設計画（素案）を示すとともに、今後のまちづくりの進め方を提案し、意見を伺いました。



開催日	令和3年3月11日、3月13日
対象エリア	阪急長岡天神駅西地区
対象者	対象エリア内の土地・建物所有者
参加者総数	27名

< 検討テーマ >

- ・ 公共施設計画（素案）
- ・ 事業検討調整区域（素案）
- ・ 今後のまちづくりの進め方

2. 主な意見



参加者

- ・ 『事業検討調整区域』に一部の大型建物が含まれていない。受益者として、公平な負担が必要ではないでしょうか。



参加者

- ・ 南北に計画する補助幹線道路について、それだけの幅員が必要でしょうか。道路ありきの計画とは考え方が古いのではないのでしょうか。



参加者

- ・ 事業用地や代替え地が必要であれば、市はもっと積極的に現在民間で売りに出されているような土地を買いにいったほうがよいと思います。



参加者

- ・ 基本計画を策定し、事業を進めようとしているのに、なぜ建築規制をかけずに新築計画を認めるのでしょうか。



参加者

- ・ 地域住民と駅から離れている人では、それぞれ当地区の使い方、位置づけが違おうと思う。事業を進めるためには、双方に対してメリットを示す必要があると思います。
多くの人が絡む事業となるので、公平性を確保した事業検討をして欲しい。